

2. 児童数推計から見る現状と今後

本計画策定に際し、最新のデータにより児童生徒数の推計を実施しました。そのデータを基に、市立小学校における適正規模校、小規模校、過小規模校のそれぞれの区分による現状と今後を見ておきます。

① 適正規模校

池田小学校：令和 10 年度までは横ばいで推移するものの、それ以降は減少が予測されます。

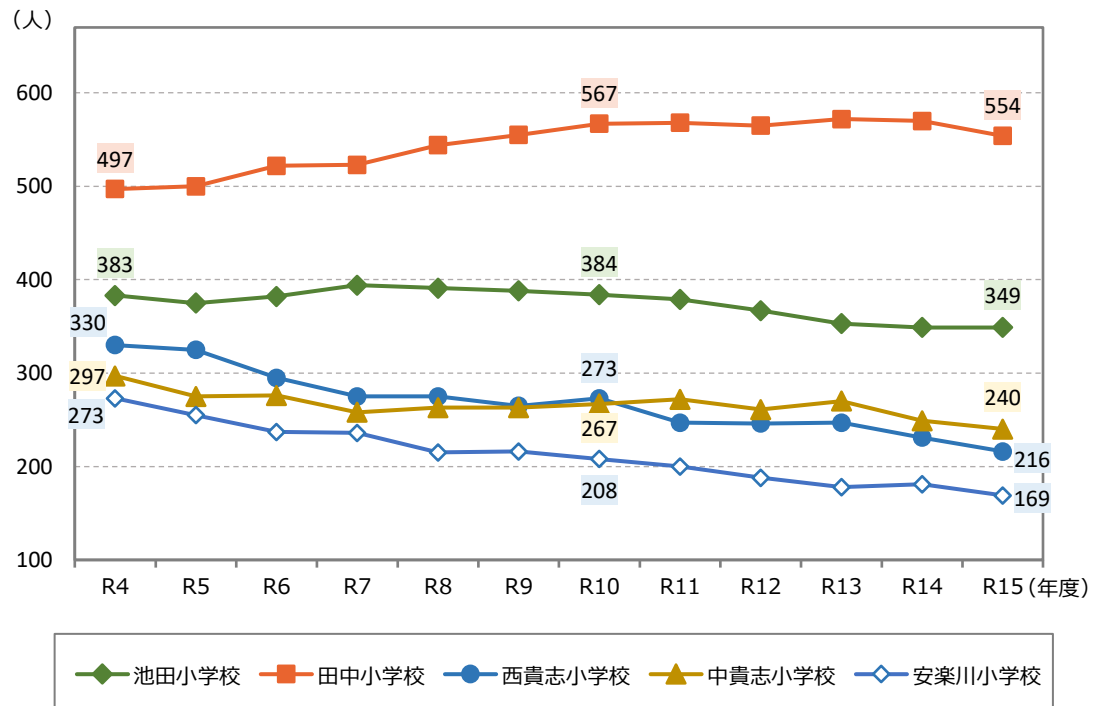
田中小学校：今後も校区内の開発が見込まれるため、児童数は増加で推移する見込みです。

西貴志小学校：児童数が年々減少していく見込みです。

中貴志小学校：児童数が年々減少していく見込みです。

安楽川小学校：児童数が年々減少していく見込みです。

■児童数の推計（適正規模校・小学校）



② 小規模校

長田小学校：令和 11 年度までは横ばいで推移するものの、それ以降は減少が予測されます。

粉河小学校：児童数が急速に減少していく見込みです。

竜門小学校：概ね横ばいで推移する見込みです。

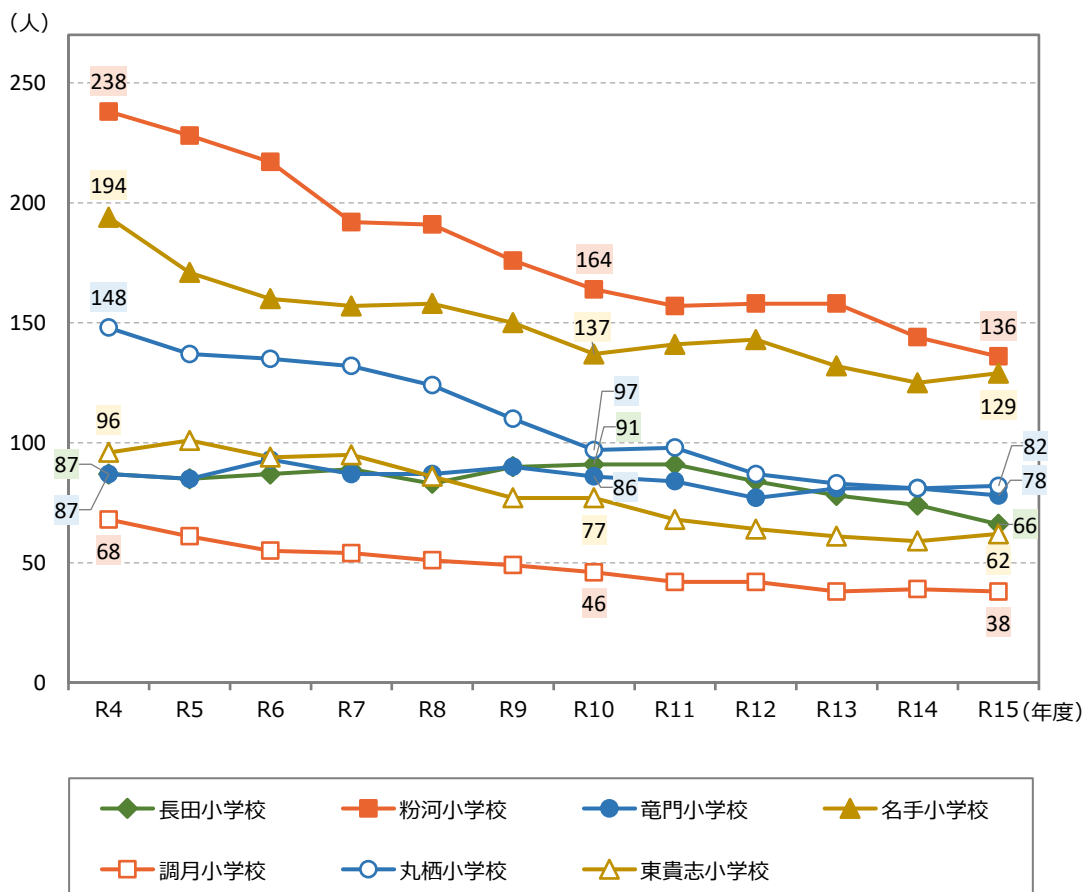
名手小学校：児童数が急速に減少していく見込みです。

調月小学校：年々緩やかに児童数が減少していく見込みです。

丸栖小学校：児童数が急速に減少していく見込みです。

東貴志小学校：年々緩やかに児童数が減少していく見込みです。

■児童数の推計（小規模校・小学校）



③ 過小規模校

川原小学校：年々緩やかに児童数が減少していく見込みです。

上名手小学校：年々児童数が減少していく見込みです。

麻生津小学校：令和5年度に減少して以降は横ばいで推移する見込みです。

■児童数の推計（過小規模校・小学校）

